

第 3 次 地 域 管 理 經 営 計 画 書 (案)

第 3 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書 (案)

(瀬 戸 内 森 林 計 画 区)

(第 二 次 変 更 計 画)

計 画 期 間 { 自 平 成 1 9 年 4 月 1 日
至 平 成 2 4 年 3 月 3 1 日 }

(変 更 年 月 平 成 2 1 年 1 2 月)

近畿中国森林管理局

目 次

〔地域管理経営計画〕

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(4) 主要事業の実施に関する事項	1

〔国有林野施業実施計画〕

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	3
(1) 伐採造林計画簿	3
(6) 伐採総量	4
(7) 更新総量	5
3 林道の整備に関する事項	6

第3次地域管理経営計画（瀬戸内森林計画区）の変更について

【変更理由】

国有林野管理経営規程第6条第8項に基づき地域管理経営計画の一部を次のように変更する。
 なお、本変更計画は、平成22年1月1日から効力を有する。

【変更する内容】

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(4) 主要事業の実施に関する事項

本計画期間（平成19年度～平成23年度）において、機能類型区分に応じた施業管理を行うために必要な伐採、更新、保育、林道の事業総量は以下のとおりである。

ア 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	タイプ別	主 伐	間 伐	計
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	<u>536</u>	<u>(363)</u> <u>22,686</u>	<u>23,222</u>
	水源かん養タイプ	<u>6,063</u>	<u>(2,229)</u> <u>167,389</u>	<u>173,452</u>
森林と人との共生林	自然維持タイプ	-	-	-
	森林空間利用タイプ	-	<u>(199)</u> <u>10,708</u>	<u>10,708</u>
資源の循環利用林		12,656	<u>(118)</u> <u>9,782</u>	<u>22,438</u>
計		<u>19,255</u>	<u>(2,909)</u> <u>210,565</u>	<11,000> <u>229,820</u>

注：1 ()は間伐面積。

2 < >は搬出支障木、被害木等の伐採箇所があらかじめ特定できない臨時的な伐採量で、外書。

イ 更新総量

(単位：ha)

区 分	タイプ別	人工造林	天然更新	計
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ	<u>0</u>	<u>37</u>	<u>37</u>
	水 源 かん 養 タ イ プ	<u>55</u>	<u>5</u>	<u>60</u>
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ	—	—	—
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	4	—	4
資 源 の 循 環 利 用 林		30	—	30
計		<u>89</u>	<u>42</u>	<u>131</u>

(エ) 林道開設及び改良総量

(単位：m)

区 分	タ イ プ 別	開 設		改 良	
		路 線 数	延 長	箇 所 数	延 長
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ	2	4,800	—	—
	水 源 かん 養 タ イ プ	5	4,600	<u>2</u>	<u>610</u>
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ	—	—	—	—
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	—	—	<u>7</u>	<u>720</u>
資 源 の 循 環 利 用 林		—	—	—	—
<u>そ の 他 (併 用 林 道)</u>		—	—	<u>1</u>	<u>100</u>
計		7	9,400	<u>10</u>	<u>1,430</u>

第3次国有林野施業実施計画（瀬戸内森林計画区）の変更について

【変更理由】

国有林野管理経営規程第14条第2項に基づき国有林野施業実施計画の一部を次のように変更する。

なお、本変更計画は、平成22年1月1日から効力を有する。

【変更する内容】

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

地域管理経営計画の1の(4)のアに定める伐採総量についての具体的な箇所ごとの伐採方法及び伐採量、並びに、同計画の1の(4)のイに定める更新総量についての具体的な箇所ごとの更新方法及び更新量は、別添2. 伐採造林計画簿に示すとおりである。

(6) 伐採総量

地域管理経営計画の1の(4)のア伐採総量の内訳は、次のとおりである。

また、本表は伐採造林計画簿で定める箇所ごとの伐採量を取りまとめたものである。

(単位 材積：m³、面積：ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	536	(362.87) 22,686	23,222	10,250	217,632	-	217,632
	天然林	-	3,257	3,257				
	水源かん養タイプ 複層林	1,881	13,843	15,724				
	長伐期	-	79,113	79,113				
	分散伐区	3,262	68,466	71,728				
	その他	920	2,710	3,630				
	小計	6,063	(2,229.44) 167,389	173,452				
計	6,599	(2,592.31) 190,075	196,674					
森 林 と 人 共 と の 林	自然維持タイプ	-	-	-				
	森林空間利用 タイプ	-	10,708	10,708				
	計	-	(199.14) 10,708	10,708				
資 源 の 循 環 利 用 林	スギ・ヒノキ 人工林中径材	11,677	5,341	17,018	750	23,188	-	23,188
	ヒノキ人工林 優良柱材	979	4,441	5,420				
	アカマツ 中大径材	-	-	-				
	その他	-	-	-				
	計	12,656	(117.74) 9,782	22,438				
合 計		19,255	(2,909.19) 210,565	229,820	11,000	240,820	-	240,820
年 平 均		4,203	54,352	58,555	2,200	60,755	-	60,755

(注) 1 () は間伐面積である。年平均は、変更伐採量を残期間で除したものを加えて算出。

2 臨時伐採量については、表中以外の施業群、生産群等の数量も含む。

(7) 更新総量

地域管理経営計画の1の(4)のイ更新総量の内訳は、次のとおりである。

また、本表は伐採造林計画簿で定める更新箇所ごとの更新量を取りまとめたものである。

(単位：ha)

区 分		人工造林			天然更新			合 計
		単層林造成	複層林造成	計	天然下種第1類	天然下種第2類	計	
水 土 保 全 林	国土保全タイプ°	—	<u>0.31</u>	<u>0.31</u>	32.82	<u>4.35</u>	<u>37.17</u>	<u>37.48</u>
	水源かん養タイプ°	<u>37.07</u>	<u>18.14</u>	<u>55.21</u>	—	<u>4.94</u>	<u>4.94</u>	<u>60.15</u>
	計	<u>37.07</u>	<u>18.45</u>	<u>55.52</u>	32.82	<u>9.29</u>	<u>42.11</u>	<u>97.63</u>
森 林 の と 共 人 生 と 林	自然維持タイプ°	—	—	—	—	—	—	—
	森林空間利用タイプ°	3.78	—	3.78	—	—	—	3.78
	計	3.78	—	3.78	—	—	—	3.78
資源の循環利用林		29.80	—	29.80	—	—	—	29.80
合 計		<u>70.65</u>	<u>18.45</u>	<u>89.10</u>	32.82	<u>9.29</u>	<u>42.11</u>	<u>131.21</u>

3 林道の整備に関する事項

地域管理経営計画の1の(4)のエ林道開設及び改良総量の路線別の内訳は次のとおりである。

(単位：m)

基幹 その他	開設 改良	路線名	箇所 (林班)	延長	機能類型 タイプ別	備考
その他	開設	第二野路山林道	野路山 (529～533)	2,000	水土保全林 (国土保全タイプ)	
		野路山林道 立小路線	野路山 (541・542)	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		野路山林道 下立小路線	野路山 (540)	1,000	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		第二仏通寺山林道	稗畠山 (1008～ 1009)	2,800	水土保全林 (国土保全タイプ)	
		第二清六山林道	唐松山 (726)	900	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		鷹ノ巣山林道	鷹ノ巣山 (503)	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		鷹ノ巣山林道2林 班線	鷹ノ巣山 (502)	900	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
計				9,400		
基幹	改良	馬の背林道	仏通寺 (1012)	10	森林と人との共生林 (森林空間利用タイプ)	
その他		野路山中腹林道	野路山 (537)	600	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		野路山林道 立小路線	野路山 (534・542)	700	森林と人との共生林 (森林空間利用タイプ)	
		野路山林道 下立小路線	野路山 (534)	10	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		包岩林道	イラスケ (561)	10	森林と人との共生林 (森林空間利用タイプ)	
		赤滝林道 第三支線	併用林道	100	該当外	
計		6路線(10箇所)		1,430		